

# 年頭のごあいさつ

佐川町長  
堀見 和道



新年明けましておめでとうございませう。町民の皆さまにおかれましては、晴れやかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、昨年中は町政運営に對しまして、色々な形でご参加、ご協力いただきましたことを改めて厚く御礼申し上げます。

町長として仕事をさせていただき、やっと1年が経ちました。「やっと」という表現をしましたが、1年間を通して様々な仕事、公務があり、がむしゃらに目の前の仕事をこなす中で、振り返るとあっという間の1年間でありました。今後も大きな町政方針として、「すべては佐川町のために、佐川町民の幸せのために」仕事に邁進させていただきましますので、一緒に幸せなまちづくりを行っていきましよう。

年頭にあたり2つの事業について報告をさせていただきます、ご挨拶に代えさせていただきますと思います。

1つ目は「総合計画づくり」についてです。今年度から来年度にかけて2年間で、平成28年度からスタートする新しい総合計画の策定を進めています。昨年は役場職員による、これまでの町政に関する振り返りを行い、今後の幸せな佐川町をイメージして「佐川町の未来」を描く作業をしました。また、50名ほどの住民の方々にインタビューをさせていただき、佐川町への思い、期待することなどを聞かせていただきました。今年度は、多くの住民の皆さんに参加していただき、総合計画づくりを進めていきたいと考えています。まず第1弾として、2月11日に「桜座」において

「しあわせ会議」を開催し、佐川町の幸せな未来について皆さんと一緒に語り合いたいと考えておりますので、ぜひご参加いただければと思います。

2つ目は「自伐型林業の取り組み」についてです。昨年からは佐川町では、働く場を創ることを目的として自伐型林業の推進に取り組んでいます。佐川町の面積の約70%が山林で、そのうち70%が人工林(檜・杉)になります。佐川町の先人が、将来の所得につながるように植えていただいた木が、町の半分の面積を占める量だけ植わっています。この山の恵みがありがたくいただき、仕事に、所得につながることを「地方創生」の1つの核にしたいと考えています。昨年11月の参議院地方創生特別委員会では石破大臣自らが「自伐型林業は雇用創出、地方創生の鍵」と明言されました。佐川町での取り組みが、林業における1つのモデルケースとして全国に発信していきたいよう、確実に、より慎重に進めていきたいと考えています。また、自伐型林業を推進するうえで、5名の地域おこし協力隊員に力を貸してもらっています。来年度も5名の隊員を募集する予定です。今年も引き続き「移住促進」に取り組みながら、佐川町の幸せづくり、地方創生を進めていきたいと考えております。

町内で長く根を張って生活をされてきた先輩方の英知を結集し、町外の方々の視点で新しい気付き、きっかけを与えていただき、笑顔があふれる「幸せなまち佐川町」づくりを今年も1年間、楽しく進めていきたいと思います！